

編集後記

(59巻 第9号 2013年9月)

今年の夏は特別暑い。記録的な猛暑日(最高気温35度以上)の連続である。夏の風物であるセミの生態をみても最近の夏の異常な暑さがわかる。京大病院の敷地内のセミは毎年うとうしいくらいうるさく鳴くが、いつもは7月末から鳴き始める。しかし、今年は2週間くらい鳴き始めが早かった。また、私の子供の頃に一番よく見かけるのはアブラゼミで、クマゼミを捕ると友達に自慢できるほどだったが、最近アブラゼミよりクマゼミが多い。クマゼミはアブラゼミよりも暑い地域のセミだという。セミ1つとっても、日本の夏の気温上昇が実感できる。セミといえば貴重な体験がある。10年前の夏、中国山東省の大学病院に招かれたことがある。その時に饗された中華料理の中にセミ料理があった。羽化する直前の幼虫が30匹くらい唐揚げにされて出てきた。食べないと失礼にあたると思い2匹ほどをお酒と一緒に胃に流し込んだため、どんな味だったかは残念ながらお話できない(ちなみにセミは英語でciadaと言います.)。

(小川 修)